

詳細は管理組合に保管しているマニュアルを確認しましょう

〇〇マンション防災減災マニュアル（〇年〇月）～各住戸配布編～

【発災から1日目】

地震発生

・身の安全確保

・火元、電気・水道の確認
・出口の確保・安否の掲示

・隣近所への声かけ
・建物の被害確認
・〇〇マンションいっとき避難場所
（〇側の駐車場）に避難

・〇〇マンションいっとき避難場所に
集まる
・被災情報等の情報共有

・マンションに留まるか判断

注意！

地震発生時は排水管が破損している
おそれがあることから、原則排水禁止！

停電が復旧したときに倒れた電気器具
や断線した電気コード火災が発生する
おそれがありますので、しっかり確認！

※玄関ドアの破損により避難できない場合は、
バルコニーの避難ハッチからの避難も検討

※ここにお住まいの住戸からの避難経路を記載

（マンションに留まらない場合）

・近くの指定避難所（〇〇小学校）等へ避難
・マンションに留まらない旨を管理組合
に報告
（〇〇により報告）
・復旧期の連絡先を管理組合に報告
（〇〇により報告）

・集まった住民で対策本部の立上げ

設置場所：集会室

設置基準：震度〇以上又はライフラインの停止

・被災状況の相互確認、対応方針（避難など）の確認

・班長代理の指名、班体制の再編成、情報の集約、全体活動の指揮

【情報班の活動】 安否確認、安否情報の伝達

【救護班の活動】 初期消火、建物の安全確認や各種設備の確認等、
エレベーターの閉じ込め確認、室内に閉じ込められた居住者の救出、
要援護者や負傷者等の救護・救援、指定避難所運営への参加、
排水管の破損の確認等、給水の確認、

【物資班の活動】 防災資機材・備蓄物資・活動備品の準備

（備蓄品の保管場所） 安否確認に必要な名簿等：管理人室
救護に必要なバール等：防災倉庫

【発災から2日目以降】

【本部長/副本部長の活動】 対策本部の体制の充実
【情報班の活動】 安否確認の継続、正確な情報の収集、情報の提供
【救護班の活動】 防火活動、防犯活動、救助活動、救護活動、指定避難所との連絡
【物資班の活動】 備蓄物資の配給・管理、炊き出し、臨時ゴミ集積所の確保・管理、支援物資の調達
(臨時ゴミ集積所) 位置:○駐車場○部分
ルール:生ゴミのみ(その他のゴミは原則各住戸で保管)

【縮小期】

【本部長/副本部長】 各班の活動体制把握、縮小・廃止
【情報班】 情報の収集・提供の継続
【救護班】 出入口の管理、建物・設備の安全管理、防犯活動
【物資班】 炊き出し等の継続、臨時ゴミ集積所の管理

【対策本部の体制】

本部長 ○号室
副本部長 ○号室、○号室、○号室
情報班 ○号室(班長)、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室
救護班 ○号室(班長)、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室
物資班 ○号室(班長)、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室、○号室

※災害時は各住戸の居住者が不在場合があります。在宅の方が代理で対応しましょう。

【各種連絡先】

【管理会社】 ○○-○○○○-○○○○ 【電気】 ○○-○○○○-○○○○
【ガス】 ○○-○○○○-○○○○ 【水道】 ○○-○○○○-○○○○
【エレベーター保守点検会社】 ○○-○○○○-○○○○
【○○市役所・町村役場】 ○○-○○○○-○○○○

【地震発生時の各種設備操作】

【給水設備】 (設備業者等から聞取りした操作方法を記入)
【消防設備】 (設備業者等から聞取りした操作方法を記入)
【発電機】 (設備業者等から聞取りした操作方法を記入)
【オートロック】 (設備業者等から聞取りした操作方法を記入)

【台風や豪雨が発生するときの留意点等】

- ・このマンションの浸水被害想定は0mです。コミュニティタイムラインを確認しましょう。
- ・事前にベランダ排水口の枯葉などを取り除き水はけをよくしておきましょう。
- ・窓ガラスはガムテープや段ボールで補強したり、ガラスの飛散に備えて、カーテン等を閉めておきましょう。また、強風時には窓ガラスに近づかないようにしましょう。
- ・ベランダに置いてある植木鉢や物干し竿等を室内に移動させましょう。室内に入らないものはロープなどで固定しましょう。
- ・周辺が浸水すると、排水管から下水が逆流し、トイレやキッチン等から下水があふれ出る場合がありますので、管理組合のルールを確認しておきましょう。